

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 3月26日

【評価実施概要】

事業所番号	1271202762		
法人名	株式会社 みくに		
事業所名	グループホーム みくに 松戸の園		
所在地	〒271-00061 千葉県松戸市栄町西 5-1342 (電話) 047-703-1260		
評価機関名	ユニトレンド 株式会社		
所在地	千葉県柏市若葉町 3-3		
訪問調査日	平成21年2月25日	評価確定日	平成21年3月26日

【情報提供票より】 (平成21年2月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 4人, 非常勤 17人, 常勤換算 13.3人	

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2 階建て	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	70,000~80,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有 : 6ヶ月
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要 (2月 5日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	2	要介護2	5
要介護3	8	要介護4	2
要介護5	1	要支援2	
年齢	平均 80 歳	最低 74 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	あおぞら診療所 (内科)、斉藤歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホーム みくに松戸の園」は、江戸川の土手を散歩できる自然に恵まれた位置にある。「自分にしてもらいたいことを、人にもそのようにしなさい」との運営理念のもと、三つの介護方針をかかげ、運営者・管理者・職員の全員が同じ気持ちで、“一人ひとりがその人らしい暮らし”が出来るよう、質の高いサービス提供に取り組んでいる利用者主体のホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	評価の意義を十分に理解し、毎年改善課題に前向きに取り組み、改善点がかたちとなり、日常のケアに活かされていた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	運営者・管理者・主任により取り組まれているが、全職員の参加が望まれる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	隔月に行なわれる運営推進会議は、ホームの理解のみならず地域の理解に広がり多くの方や施設の協力を得ていた。運営推進会議のメンバーからの助言で介護相談員の受け入れも可能になった。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	家族会・運営推進会議・担当職員による介護たより等で信頼関係作りに努めながら、より一層の工夫と対応方法を考えていた。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地域の福祉大会・町会の運動会に参加し、ホームのバザーには近隣の方の参加を促し、障害者施設への通所者が一週間おきに草取りに来てくれるなど、連携は大変良い方向に進んでいる。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分にしてもらいたいことを、人にもそのようにしなさい」という独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者・管理者・職員全員が見事に理念を共有し、実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の福祉大会・町会の運動会への参加、障害者施設との交流等地域との交流に努めている。	○	認知症の実例を踏まえ、在宅で介護されているご家族へのさらなる支援に期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員は評価の意義を理解し、評価を活かして取り組んでいる。前年度の改善課題には積極的に取り組み改善されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開き、そこでの意見をサービス向上に活かしている。メンバーからの助言で今年から、介護相談員の定期的受け入れも実現した。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の参加、介護相談員の受け入れ等連携に取り組む、松戸市グループホーム協議会の事務局として市の介護サービスの向上にも取り組んでいる。	○	権利擁護・成年後見制度の利用者も出ているので、勉強会を行ないたいと考えている。社会福祉協議会などの専門職員との連携による勉強会の実現を期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回の金銭管理の結果や請求書と共に、担当職員による一人ひとりの介護たよりを添えて報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会から運営推進会議に出席してもらい、意見など表せる機会を設け運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は職員を尊重し、職員同士の関係も良好である。特筆すべきは、開設以来職員の離職者が少なく、利用者・家族に不安を抱かせないホームである。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所は、職員自身が感心するほど法人内外の研修を受ける機会を確保し、他のグループホームと見学研修を相互に行うなど、職員は働きながらトレーニングを重ね自信につながっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、松戸市グループホーム連絡会の事務局として、事業所の交流・ネットワーク作り・勉強会や相互訪問などに取り組み、業界のサービスと質の向上に中心的役割をになっている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族との面談、ホームの見学、体験入所と段階を経るだけでなく、一人ひとりの状況に応じて何度でも見学を重ねていただき、家庭訪問するなど家族と相談しながら、利用者が徐々に馴染めるよう工夫し対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	三つの介護方針「安心と清潔を与える介護」・「生きがいつくりの介護」・「出来る事はしていただく介護」のもと、職員は利用者とともに過ごしながら支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向の把握に努め、個別ケアに取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを開き、フロアーミーティング等で利用者の個別ケアの方法について職員間の周知と共有に努めている。ただ、本人・家族・職員それぞれの意見やアイデアの介護計画への落とし込みが不十分であった。	○	職員間で共有し取り組んでいる個別の介護ケアサービスが、一人ひとりの介護計画に反映される事が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の身体面の変化や認知症の変化に伴って対応の見直しは迅速に行い(緊急ミーティング・センサーマットの利用等)、本人・家族や必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画をたてている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームは地域の協力とボランティアなくしては成立しない事を理解している代表者は常に柔軟な支援に心掛けていた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の医師の往診と訪問歯科を基本に利用者の健康管理を図り、緊急時にはいつでも駆けつけてくれる関係を築き、利用者が適切な医療を受けられる支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	最近のカンファレンスではターミナルのあり方が話題となるため、本人・家族などの意向を確認するとともに、かかりつけ医とも話し合い、今後の対応を共有している。	○	文章による確認が望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応は行っていない。個人情報の取り扱いの配慮もしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	3つの介護方針に基づきながら、利用者に寄り添い利用者一人ひとりのペースを大切にして、希望にそった支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月2回のオリジナルメニューの日には、利用者と共にメニューを考え、一緒に買い物に出かけ調理を行なっている。又、利用者は日々自分の仕事として配膳や後片付けをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日を決め1日おきに入浴をしている。時間帯や入浴時間は心地よく楽しめるよう配慮して支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付け・掃除等の役割で個々の力を活かし、個別ケアの取り入れによる買い物・散歩・映画鑑賞などの支援の他、年1回の一泊旅行、ハイキングも家族の参加で行なっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	立地条件に恵まれ、江戸川の風を気持ち良く受けながら、散歩を毎日実施して外気に触れている。また、地域とのコミュニケーションにも心掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	立地条件（近くが土手沿いの車道）を考慮し、玄関のみオートロックにしていたが、地域との兼ね合いも考慮して出来る限り施錠しないケアへの取り組みを考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は行なっているが、地域の協力が得られる為の働きかけは始まったばかりである。	○	地域の方々との協働体制確立に期待する。また、近隣のタクシー会社との関係作りにより多くの効果が期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食前には口腔体操をして、食事を美味しくいただけるような支援を行なうと共に、食事量・水分摂取量が確保できるよう、一人ひとりの状態や習慣に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには利用者手作りのカレンダーや季節の飾り物を置き、いつでも出られるテラスでは、隣接の畑から季節感を手に取るように味わう事が出来る。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人や家族と相談して、利用者の馴染みの家具・仏壇や使い慣れた好みのものを活かして、居心地良く過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。